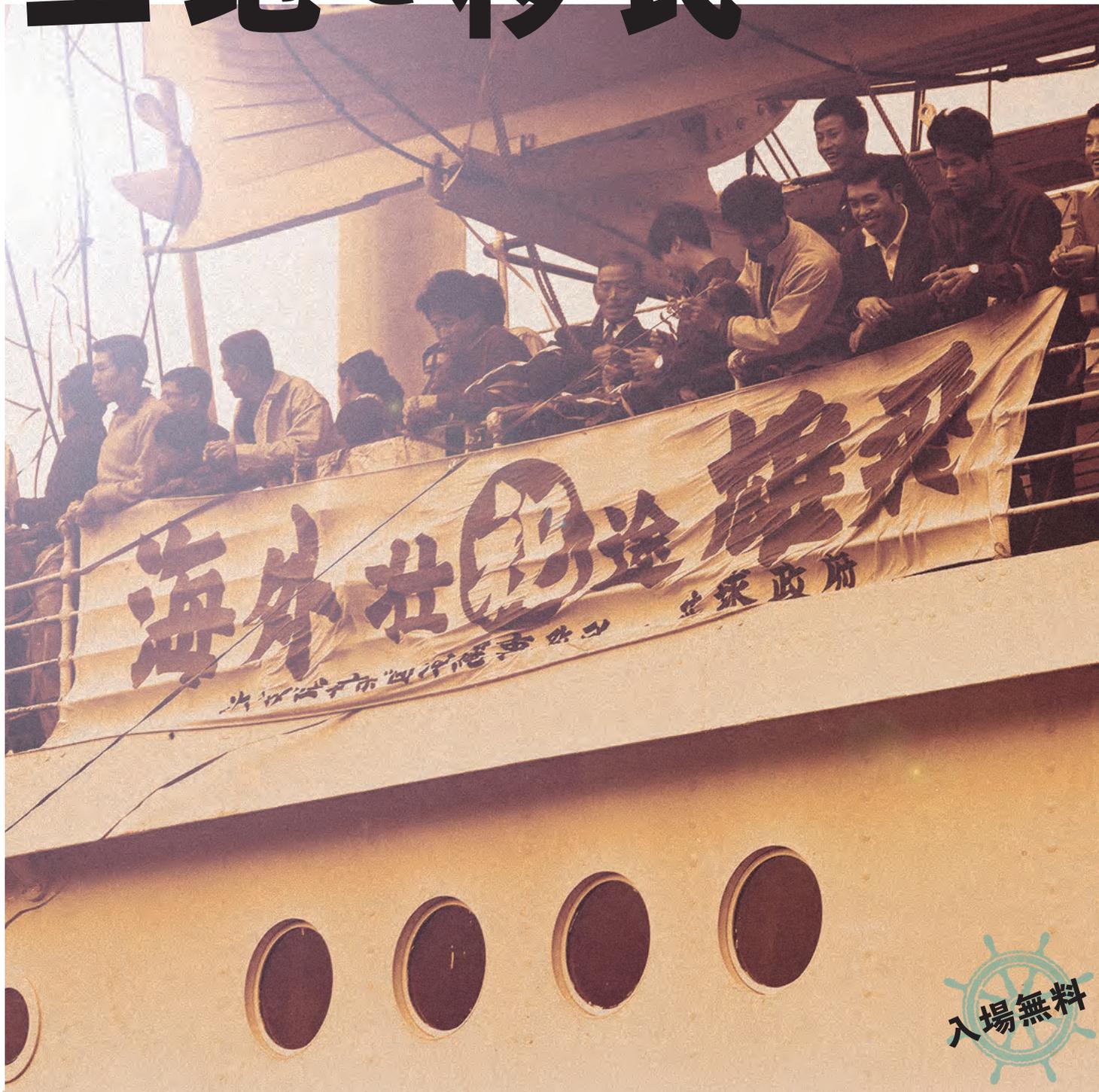


沖縄県公文書館所蔵資料展

土地と移民

シマを出て
新しい土地へー



1968年2月19日 那覇港 ブラジル・アルゼンチン移住団79人出発
琉球政府関係写真105 029499

会期 2016年 10/25(火) ~ 2017年 5/7(日)

時間 午前9時～午後5時

休館 月曜日、祝日、
年末年始(12/29～1/3)

会場 沖縄県公文書館
閲覧展示棟1F展示室
沖縄県島尻郡南風原町字新川148-3

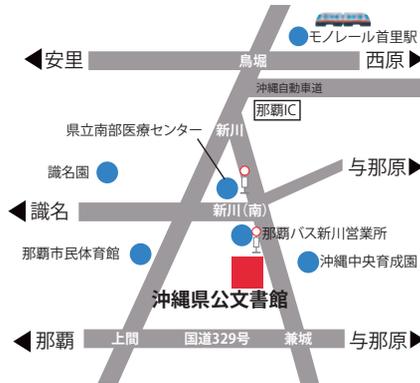
- 交通案内
- ・那覇バス 1.2.3.4.5.14.15.16番
「新川営業所」下車徒歩3分
 - ・東陽バス 191番
「県立医療センター前」
下車徒歩15分



駐車スペースが限られていますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

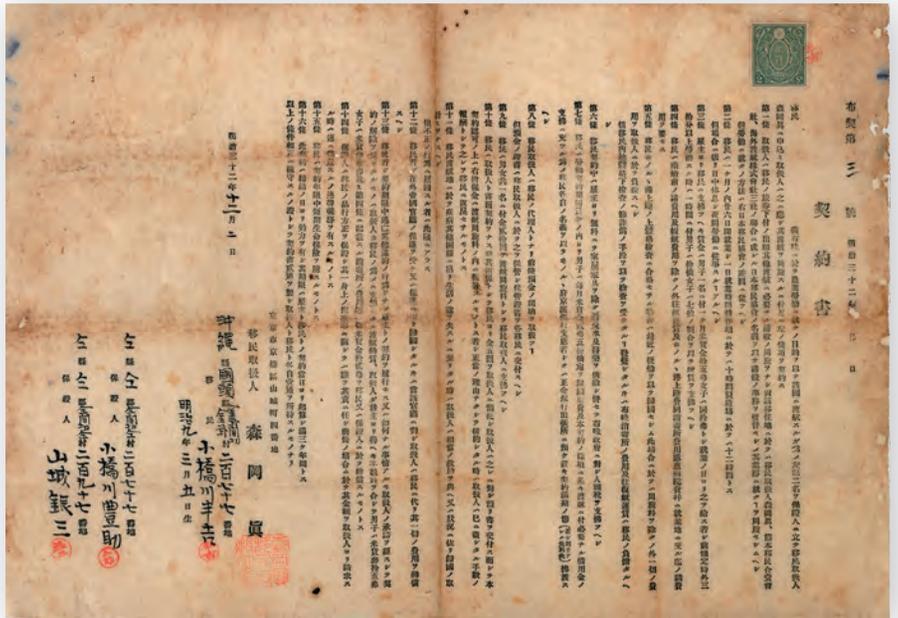


お問い合わせ 沖縄県公文書館指定管理者
(公財)沖縄県文化振興会
098-888-3875(普及広報)

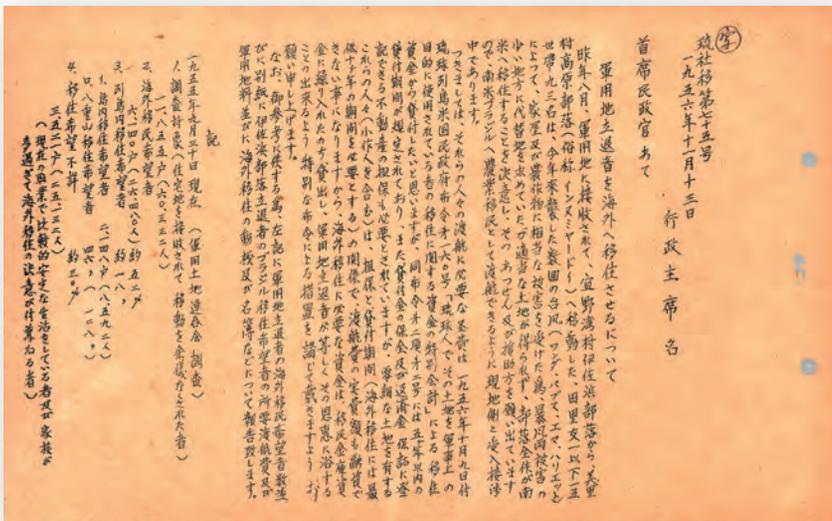




日本帝國海外旅券 第八五七四〇号 明治四十年六月八日
湧川清栄文書 0000050298 より



移民取扱人との契約書 明治三十二年十二月二日 湧川清栄文書 0000050298 より



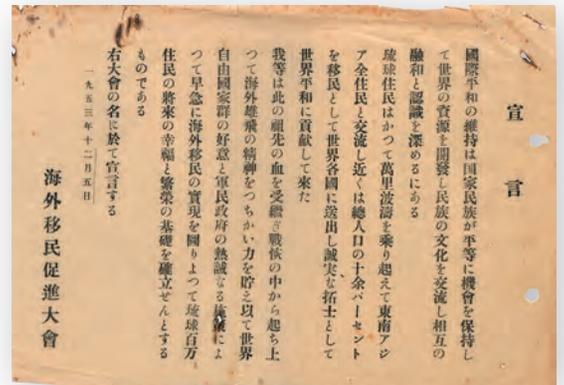
軍用地立退者を海外へ移住させることについて 一九一六年十一月十三日 稲嶺一郎文書 0000030712 より



ポリビア沖縄移住地の小学生 1960年代
琉球政府文書 R00054234B より



第110回南米ブラジル呼寄移住教育修了記念写真 1961年9月5日
琉球政府文書 R00054231B より



海外移民促進大会宣言 一九五三年十二月五日
稲嶺一郎文書 0000032744 より

第6回世界のウチナンチュ大会が開催される今年、たくさんの人々が移住先から沖縄を訪れ、故郷との絆を確かめます。世界に広がる県人ネットワークは、沖縄からの移民たちがその基礎を築いたといつてよいでしょう。

沖縄から初めての集団移民がハワイへ向けて那覇港を出たのは1899年(明治32)のことです。それから南米、北米、フィリピン、南洋群島へと移住先は広がり、移民たちは新しい土地でひたむきに働きました。戦後は米国施政権下で「余剰人口」を移住地へ送り出すことを目的とした計画移民が始まりました—沖縄移民の歴史を所蔵資料で振り返ります。

原本保護のため、会期中に展示資料の入替えや、複製物への差替えをいたします。あらかじめご了承ください。

